

日々の祈り

2020年11月30日(月)~12月5日(土)

宮崎中部教会



<はじめに>

それぞれの日々の生活の中で、神さまに心を向け、御言葉を聞き、祈りをもって過ごしましょう。教会のために、兄弟姉妹のために、隣人のために、祈りを合わせましょう。

<使い方>

毎日の御言葉を、可能であれば声に出して、二回以上読んでみましょう。御言葉をじっくりと味わい、聖霊に導かれるまに、祈りの時をもちましょう。

<今週の祈りの課題>

- ・アドベントの時、神さまがわたしたちに与えて下さった愛を覚えて、わたしたちも神さまと隣人を愛することが出来るように。
- ・全国の諸教会のクリスマスの歩みが守られるように。
- ・宮崎の地の人々が、神さまのご支配に守られ、神さまの恵みと愛を知ることが出来るように。

30日(月)

ルカによる福音書 11章 4節

わたしたちの罪を赦してください、／わたしたちも自分に負い目のある人を／皆赦しますから。

わたしたちを誘惑に遭わせないでください。

昨日の御言葉を思い巡らしましょう。神さまの罪の赦しにあずかりましょう。すべてはそこから始まります。神さまに愛され、憐れまれ、罪を赦され、命を与えられ、神の子として生きる道へと招かれたわたしたちです。この恵みに生きるからこそ、わたしたちもまた、愛し、憐れみ、赦す者となることを祈り求めることが出来るのです。

1日(火)

ルカによる福音書 1章 76~79節

幼子よ、お前はいと高き方の預言者と呼ばれる。主に先立って行き、その道を整え、主の民に罪の赦しによる救いを／知らせるからである。これは我らの神の憐れみの心による。この憐れみによって、／高い所からあけぼのの光が我らを訪れ、暗闇と死の陰に座している者たちを照らし、／我らの歩みを平和の道に導く。

洗礼者ヨハネの父、ザカリアの預言です。洗礼者ヨハネは、いと高き方、救い主イエスさまを指し示す預言者として神さまに選ばれ、生まれてきました。ヨハネは告げます。主の民に、罪の赦しによる救いを。一わたしたちの救いとは、神さまに対する罪が赦されることです。わたしたちが罪によって破壊してしまった神さまとの関係を、イエスさまが回復させて下さり、神さまと和解させられ、神さまとの間に平和が与えられることです。わたしたちは、暗闇と死に座していたところから、光に照らされて立ち上がり、神さまと共に歩み出す者とされるのです。

2 日(水)

詩編 85 編 2～4 節

主よ、あなたは御自分の地をお望みになり／ヤコブの捕われ人を連れ帰ってくださいました。御自分の民の罪を赦し／彼らの咎をすべて覆ってくださいました。怒りをことごとく取り去り／激しい憤りを静められました。

神さまは、御自分の民の罪や咎に対して怒り、激しく憤っておられます。しかし、それでも神さまは、御自分のものとされた民を愛し、憐れんで下さいます。その罪を赦し、その咎をすべて覆ってくださいます。罪や咎は、勝手に消えたり、無かったことにはなりません。ただ、神さまお一人がすべてを引き受け、忍耐してくださり、それを赦し、それを覆って下さったのです。そのすべては、十字架のイエスさまに現わされています。

3 日(木)

詩編 50 編 15 節

それから、わたしを呼ぶがよい。苦難の日、わたしはお前を救おう。そのことによって／お前はわたしの栄光を輝かすであろう。

わたしたちが神さまを呼び求め、何でも祈ることが出来るのは、「苦難の日、わたしはお前を救おう」と言って下さる、神さまの確かな約束に基づいています。祈るわたしたちに確かさや根拠があるわけではありません。祈りは、神さまご自身の確かさ、父として愛して下さり、約束を必ず実現して下さる、誠実で真実な神さまに根拠があるのです。「わたしを呼ぶがよい。」神さまがこのように祈りへ招いて下さっています。

4 日(金)

詩編 140 編 7～8 節

主にわたしは申します／「あなたはわたしの神」と。主よ、嘆き祈るわたしの声に耳を傾けてください。主よ、わたしの神よ、救いの力よ／わたしが武器を執る日／先頭に立ってわたしを守ってください。

次の主日礼拝の御言葉です。わたしたちは、誘惑や悪と戦わなければならない時があります。しかし、わたし自身の力は頼りなく、確固たるものは何也没有ありません。自分の力で戦わなければならない、戦える、と思ってはなりません。わたしたちは主に頼らなければならないのです。主にこそ祈り、助けを求めるなら、主はわたしの先頭に立って下さり、必ずわたしたちを守って下さいます。

5 日(土)

ルカによる福音書 11 章 4 節

わたしたちの罪を赦してください、／わたしたちも自分に負い目のある人を／皆赦しますから。
わたしたちを誘惑に遭わせないでください。

明日の主日礼拝の御言葉です。わたしたちが信仰者として生きて行く中では、多くの避けられない誘惑が、確かにあります。誘惑とは、神さまとの交わりを妨げようとするあらゆることです。わたしたちがこのことに飲み込まれることなく、乗り越えることが出来るのは、ただ祈ること、神さまに依り頼むことによってです。そして、イエスさまが、わたしたちのために祈り、守って下さることによってです。